

日本毒性学会生体金属部会 主催

メタルバイオサイエンス研究会2021

～メタルバイオサイエンス研究のスピンオフ～

寄付金・広告募集趣意書

実行委員長 三浦 伸彦

1. 会議の名称: メタルバイオサイエンス研究会 2021
2. 主催機関: 日本毒性学会 生体金属部会
3. 協賛機関: 協賛: 日本衛生学会、日本環境変異原ゲノム学会、日本薬学会
後援: 神奈川県病院薬剤師会、神奈川県薬剤師会、国立水俣病
総合研究センター、横浜市、横浜市薬剤師会 (五十音順)

4. 代表責任者:

実行委員長	三浦 伸彦	(横浜薬科大学 教授)
副実行委員長	関本 征史	(麻布大学 准教授)
実行委員	北 加代子	(帝京大学 准教授)
	高橋 勉	(東京薬科大学 講師)
	藤村 成剛	(国立水俣病総合研究センター 部長)
	堀口 兵剛	(北里大学医学部 教授)

(五十音順)

5. 会 期: 2021 年 10 月 27 日(水)～28 日(木)
6. 場 所: 西公会堂
〒220-0073 横浜市西区岡野 1-6-41
7. 参加予定数: 約 180 名
(内訳: 大学 80%、国公立研究所 15%、他 5%程度
職員・社会人研究者 75%、学生 25%程度です)
8. 事 務 局: 〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1
帝京大学薬学部毒性学研究室内
「メタルバイオサイエンス研究会 2021」運営事務局
事務局長 北 加代子 (帝京大学 准教授)
TEL 03-3964-8182
FAX 03-3964-8185
E-mail: secretary_office@jsot-mbs2021.com
9. ホームページ: <https://jsot-mbs2021.com/>

(参考) ・メタルバイオサイエンス研究会 2020
<http://www.conmetal2020.jp/index.html>
・メタルバイオサイエンス研究会 2019
<http://jsot-mbs2019.com/index.html>

10. 開催趣旨:

金属には毒物と生理活性物質の 2 つの側面がある。日本毒性学会は 2017 年に生体金属部会を設立し、金属の毒性と生理作用の研究を統合的に発展させる場としてメタルバイオサイエンス研究会を年 1 回開催している。

地球上には多種・多量の金属が存在し、人類はこれら金属の存在下で生存するために、生体システムを地球環境に合わせて構築してきた。しかし人間社会の発展に伴い開発や工業化が進み、金属土壌汚染による重大な公害が世界各地で発生し、これは過去形ではなく現在進行形で生じている。さらに現在の革新技术により新しい金属化合物が開発され、未知の生体影響が懸念されている。人々の健康を守るためには、これら金属・金属化合物が生体に及ぼす影響を正確に把握し、解析する必要がある。

一方、金属・金属化合物の生物活性が解明されるにつれ、その作用を活かすことで人類に大きな利益を与えることが明確になってきた。例えば生体に必須の金属があり、その欠乏や過剰は生体に悪影響を及ぼす。従ってこれらの金属を量的にコントロールすることで病気の予防や治療に結び付く。また金属を抗がん剤などの薬剤として用いることもできる。

金属・金属化合物の生物活性や毒性の解明に特化した学術会議である『メタルバイオサイエンス研究会 2021』では、現在までに得られた研究結果や情報を社会に還元する方向・方策をいま一度議論し、「メタルバイオサイエンス研究のスピノフ」をテーマとして、金属研究の社会還元を通して金属研究全般の発展に寄与することを目的とする。

11. 会議の概要:

特別講演1, シンポジウム4, 受賞講演3, 一般口頭発表, 一般ポスター発表, 生体金属部会賞授賞, 研究奨励賞授賞, 関賞(若手優秀研究賞)授賞, 常任幹事会・幹事会の開催

12. 募金趣旨(寄付または広告を必要とする理由):

現代社会の生活は、農薬や食品添加物に代表される様々な化学物質の恩恵のもとに成り立っている。一方で、我々はそうした化学物質が潜在的にもっている危険性に曝されている。特に金属は生体に対する作用が強く、しかも環境中に広く存在するために今も人の健康に対する有害性が懸念されている。一方、金属には必須微量元素として生体機能維持に重要な役割を果たしているものも多数存在する。こうした金属と生体の関わりを解明する上で、金属の生物活性・毒性とその分析の研究に携わる研究者間の交流と情報交換を推進するためには金属研究の権威が集って質の高い討論を繰り広げる本研究会をより充実したものにすることが不可欠であり、寄付および広告をお願いする次第である。

13. 収支予算書

【収入の部】

(単位:円)

科目		予算額		備考
事業収入				
	事前参加登録料	1,110,000		
	一般 (120 名×9,000 円)		1,080,000	
	学生 (30 名×1,000 円)		30,000	
	当日参加登録料	220,000		
	一般 (20 名×10,000 円)		200,000	
	学生 (10 名×2,000 円)		20,000	
	広告掲載料	300,000		
	日本毒性学会からの開催援助金	300,000		
収入予算額合計		1,930,000		

【支出の部】

(単位:円)

科目		予算額		備考
運営費				
	事務費		330,000	
	消耗品費			50,000
	通信費			80,000
	印刷費			200,000
	講演要旨集		500,000	
当日運営費				
	講演会開催費		700,000	
	会場費			200,000
	設営・運営費			500,000
	講師招待費		200,000	
雑費				
		200,000		
支出予算額合計		1,930,000		

メタルバイオサイエンス研究会2021 寄付金募集要領

1. 寄付の募集
「メタルバイオサイエンス研究会2021」の趣旨を御理解いただき寄付金によるご支援をお願いします。
2. 寄付の申込方法
寄付金申込書に必要事項をご記入の上、事務局に電子メールでお送り下さい。
「メタルバイオサイエンス研究会2021」運営事務局
E-mail: secretary_office@jsot-mbs2021.com
3. ご寄付は、1口 10,000 円より受付いたします。
4. 寄付金の振込先
銀行名(コード): 横浜銀行 (0138)
支店名(コード): 戸塚南支店 (352)
口座番号: 普通 6065766
加入者名: メタルバイオサイエンス研究会2021
5. 寄付申込締切
2021年9月27日(月)
6. ご寄付いただいた企業・団体の名称を要旨集に明記いたします。
7. 50,000円以上のご寄付をいただいた場合には、本研究会の参加証と要旨集を2名分進呈させていただきます。

メタルバイオサイエンス研究会2021 広告募集要領

1. 広告の募集 「メタルバイオサイエンス研究会2021」の趣旨をご理解いただき要旨集またはホームページへの広告掲載をお願いします。

2. 募集要項

【「メタルバイオサイエンス研究会2021」要旨集 広告】

◆概要

- ・発行部数 250 部
- ・配布対象者 メタルバイオサイエンス研究会2021参加者

◆広告掲載料

要旨集	A4版 白黒 1ページ(タテ)	60,000円
	A4版 白黒 半ページ(ヨコ)	30,000円

【ホームページ バナー広告】

◆概要

- ・広告媒体名 「メタルバイオサイエンス研究会2021」ホームページ
- ・URL <http://jsot-mbs2021.com/>
- ・広告方法 バナー画面のローテーション表示及び指定URLへのリンク

◆バナー広告掲載料

ホームページ	バナー広告 1口	10,000円
--------	----------	---------

3. 広告の申込方法

広告申込書に必要事項をご記入の上、事務局に電子メールでお送りください。

「メタルバイオサイエンス研究会2021」運営事務局

E-mail: secretary_office@jsot-mbs2021.com

4. 申込締切 2021年9月27日(月)

5. 広告原稿締切 2021年9月27日(月)

6. 広告掲載料の振込先

銀行名(コード): 横浜銀行 (0138)

支店名(コード): 戸塚南支店 (352)

口座番号: 普通 6065766

加入者名: メタルバイオサイエンス研究会2021